☺【お知らせ】今号も「東日本大震災・災害対策本部ニュース ＝祈りの絆（きずな）＝」を掲載させていただきました。「教会インタビュー」と「証しのリレー」は休載いたします。改めて掲載させていただきますことをご了承ください。（編集室）

東日本大震災・災害対策本部ニュース

＝ 祈りの絆（きずな） ＝

※6月30日現在の震災支援等に関するニュースです。連盟災害対策支援に関する情報は、連盟ホームページにて日々更新しています。（http://www.bapren.jp/）

青森の支援

青森教会の支援は、一通のお手紙から始まりました。震災後3月20日に、一昨年に召された青森教会会員Ｉさんのご長女から、陸前高田市にお住まいの義妹さんの意志としての祈りと献金が郵便で届けられました。義妹さんは大津波で行方不明となられ、4月2日に5キロ沖合で御遺体で発見されました。医師であるＩさんのご長男は、仮設診療所で働かれる合間をぬいながら遺体安置所で妻を探す日々の中、ようやく再会を果たされたとのことでした。

4月4日、追悼の祈りを携え、佐々木昭正牧師と5名の教会員が幼稚園バスと車2台で緊急救援物資を持参し、陸前高田市に入られました。その後、二度三度と被災地を訪問しての物資輸送や炊き出し活動をしておられます。

カルバリー教会はジャルバート牧師はじめ、被災地支援の働きを積極的に担っておられます。米国等のクリスチャンからの祈りや物資が続々と届いているとのことでした。

小松ヶ丘伝道所は、震災の日から一週間近く、避難所の役割を果たしました。ご近所の一人暮らしの方々が、停電と寒さの中で会堂で身を寄せるようにして過ごされたとのことです。また、堀米重次郎牧師は、青森の六ヶ所村にある核燃料再処理施設も大きな不安と危険の中にあることをレポート資料を作成して発信しておられます。

三沢教会の福田敦牧師も、政府の原発対応の甘さなどを発信しておられます。特に子どもたちへの心配が尽きないということを、ご自身が医師であるということもあって、警告を発しておられます。

八戸教会と鮫教会は、大津波の危険を身近に感じた教会でもあります。教会は、高台にあり無事でしたが、港湾・漁業関係者など教会員の間でも、職場が流されたなど、大きな被害が出たようです。

大槌町、石巻での炊き出し

石巻市牡鹿半島での炊き出しに加え、6月から、盛岡教会（大須賀真人、綾子牧師）と北海道地方連合を中心に「青森・岩手チーム」として、岩手県大槌町の避難所でも炊き出しが始まりました。魚の水揚げで栄えた沿岸の被災地の方々に、久しぶりの魚料理を提供して喜ばれています。今後、仮設住宅への移動が始まる8月初旬頃まで炊き出しを続けていく予定です。

遠野のボランティア拠点

遠野市にある元農協施設を借りて、ボランティア拠点の開設準備を進めています。7月中旬頃から、大船渡・陸前高田・大槌などへの沿岸部に、地元のＮＧＯ「遠野まごころネット」を通して、ボランティア活動を行う計画です。

福島での原発対応

福島地域では、放射線の影響下で、特に子どもたちを心配して祈っています。窓を開けられない屋内での活動のために、教会の空調設備支援を行っていきます。また、ＤＶＤ上映会や室内ゲームなどのプログラムの実施にも協力していきたいと考えています。

多くの祈りと募金に感謝

被災地支援のために寄附と募金により入手した9台のワゴン車が物資輸送やボランティア活動のためにフルに稼働しています。また、夏に向け、殺虫剤や扇風機などの物資や機材の購入も進めています。

以上の活動のために、多くの方々から祈りと共に捧げられた緊急救援募金が用いられています。今後も被災地にある教会が、キリストの体として痛んだり、喜んだり、共に歩もうとする働きを全面的に応援していきます。（災害対策本部事務局長・野口哲哉）

上から①青森教会による陸前高田での、すき焼きの炊き出し②大槌町の避難所で約400枚のさんまの丸干しを焼く③震災から3ヶ月、生花を避難所の方々に提供する④岩手県沿岸部への連盟ボランティア派遣拠点となる遠野被災地支援センター

祈りの課題

- 刻々と変化する被災地、避難状況の中で、様々に「引き裂かれ」痛んでいる一人ひとりに、主ご自身の慰めと癒しがあるように。
- 教会の支援活動が聖霊の働きのもとで「和解のつとめに仕える」奉仕として整えられ用いられるように。
- 福島原発の放射能飛散が一日も早く収束し改善していくように。

被災地支援・青年ボランティア隊募集

7月下旬より、岩手県遠野の被災地支援センターを拠点にボランティア活動が展開されていきます。宣教部青少年伝道室主催の青年運動推進のプログラムとして青年ボランティア隊を募集します。

日程：8/2(火)～8/6(土)昼食後解散　募集人員：10名

A：連盟事務所（2日9時集合、6日21時解散）※車で往復

B：ＪＲ遠野駅（2日16時集合、6日13時解散）※駅までは各自で。

現地責任者：金子千嘉世（宮崎丸山町教会牧師・災害対策本部委員）

同行リーダー：福永保昭（相模中央教会牧師）他1名交渉中。

内容：遠野まごころネットを通しての働き（泥出し、室内清掃など）

費用：交通費、食費は自己負担。宿泊は遠野支援センター（布団有）。

保険：連盟費用にてボランティア保険に加入します

締切：7/22(金)必着　※6/22付全国発送申込書にて申込みください（連盟FAX048-883-1092）＊上記以外、7/25～8/30の間でボランティア希望の方は対策本部（野口哲哉）までお問い合わせください。

【東日本大震災緊急救援募金のお願い】6/23現在 98,927,881円〔海外分37,792,204円含む〕

送金先：郵便振替　00140－9－180881「宗教法人日本バプテスト連盟総務部」

※東日本大震災募金と明記してください（東北地方太平洋沖地震募金、東北関東大震災でも結構です）。

※募金は極力教会でまとめて送金ください。海外からの募金は別口座です。総務部までお問い合わせください。

※募金をお送りいただいた方々の名簿（月毎の受付順）を連盟ホームページにアップしています。

＜募金（目標総額5,000万円）の使途の目安は次の通りです＞

①被災教会・教会員へのお見舞い／教会建物支援　1500万円　②被災地支援2500万円

③現地スタッフ／ボランティア活動費、事務局費　1000万円

※募金目標額が既に超えております。今後、理事会において募金使途について再検討がなされる予定です。

▲緊急募金ポスターは連盟ホームページからダウンロードできます。

バプテスト 第673号　2011年8月1日発行・毎月1回（定価200円・本体191円）　振替00150-9-192579　発行 日本バプテスト連盟　発行人 加藤 誠
〒336-0017 さいたま市南区南浦和1-2-4　Tel.048(883)1091　Fax.048(883)1092　http://www.bapren.jp/